

平成18年10月12日

各位

会社名 セガサミーホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長  
里見 治  
(コード番号 6460 東証第一部)  
問合せ先 執行役員  
堀田 正 君  
(電話番号 03-6215-9955)

平成19年3月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年5月16日に公表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の中間期業績予想を下記のとおり、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期業績予想(連結) (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円、%)	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表値(A)	296,000	42,500	22,000
今回修正値(B)	280,000	63,000	35,000
増減額(B-A)	▲16,000	20,500	13,000
増減率	▲5.4%	48.2%	59.1%
(ご参考) 前中間期実績	248,563	49,404	24,954

<修正の理由>

当中間期の売上高につきましては、主に遊技機事業においてパチンコ遊技機の販売が計画を下回ったことを要因として、前回発表値を若干下回る見込みとなりました。

利益につきましては、遊技機事業において、パチンコ遊技機の販売が計画を下回ったものの、当期の主力タイトルであるサミーブランドパチスロ機「北斗の拳 SE」の当中間期における出荷が約32万台となる等、パチスロ遊技機の販売が計画を大幅に上回ったこと、およびアミューズメント機器事業において前期に引き続き高付加価値製品が販売好調となったこと等を受け、当初計画と比較すると、経常利益は205億円の増加となる630億円、中間純利益は130億円の増加となる350億円となる見込みです。

2. 中間期業績予想(単独) (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

当中間期における単独の業績予想の修正はございません。

3. 通期業績予想(連結・単独) (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

当期の主力タイトルであるサミーブランドパチスロ機「北斗の拳 SE」に対する高い需要を背景に、当初下半期出荷を計画していた台数が当中間期への前倒し出荷となり、当中間期は当初計画と比較して利益面で大幅に上回る見通しとなったものの、通期業績予想につきましては、当中間期におけるパチンコ遊技機販売の計画未達および下半期以降のパチンコホールの厳しい経営環境等を勘案し、現在、通期業績予想(連結)につき見直しを検討しております。11月10日に予定している中間決算発表時に公表させていただく予定です。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上